

オークションに行ってきました。

日本宝石協会・JGS宝石勉強会として有明の毎日オークション様にお邪魔いたしました。勤め先には以前サザビーズのカウンターがあり店内で宝石プレビューを開いたこともありますが国内オークションに参加するのは初めてのことです。

今回はまずオークション前日の下見会に参加して商品を実際に手に取って見せていただいた後、諏訪貿易株式会社の諏訪恭一会長にコーディネーターとなっていただき、商品の着目ポイントやチェックポイントを伺いながら現在の商品供給源としてのオークションの重要性などのお話をいただきました。また出品商品のいくつかを対象とした落札予想価格なども含めた意見交換も行われ、それぞれのお立場の皆様のご貴重な情報に触れることができました。大変バラエティー豊かな商品カテゴリーで最新式のG I Aシールダイヤモンドルースからアンティークジュエリー、カラーストーン製品、ブランドジュエリーから時計、ベッ甲アイウェア、金製品からクロコバッグまで広い清潔な会場でゆっくりと見ることができました。重点チェック商品の再確認をした後、名残り惜しくも第一日目の下見会が終了しました。

さて翌日はよいよオークションの開催です。午前中はワインの部がありジュエリーは午後の開催ということで予定時間の少し前に、参加に必要な簡単な書類を提出して入場登録を済ませました。会場には外国人を含む数十名の参加者とオークシニア3名を含む10名あまりのスタッフの方たちが詰め、オークションが始まりました。総点数700以上の商品があるので三名のオークシニアが交代でスピーディーに進行させます。魅力的と思われた商品が不落札のこともあります。始まって三時間余り経過したところで本日のハイライト3. 27 c t パライバトルマリン指輪の登場です。緊張のスタートでしたがいきなりエスティメートの四倍を超える金額が会場参加者からかかり、白熱の展開がオークシニアの軽妙なトークと相まって最終ハイエスティメートの5倍を超える高額落札となりました。

全体を通じて会場参加者以外の事前入札や電話参加による落札もかなりあったようです。年間五回あるとのことですが、まずカタログで注目商品を絞り込み、下見会で手に取ってみて（その商品の注目度合いも判ります）価格をじっくり検討して当日に望まれるのが良いでしょう。全部見ていたら疲れてしまいますから途中の息抜きもしましょう。欲しい商品に出会ったら肝を据えて落札するのも大事なことだと思います。今回は見学のみでしたがお客様の商品出展も含め、積極的に参加してみたいと思いました。

最後になりましたが今回貴重な機会を作っていただきました毎日オークション様、日本宝石協会ならびにJGSの皆様、諏訪会長に心より御礼申し上げます。

(株)そごう・西武 遠藤一秀